



# れんけい と 支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2010年11月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

## 心臓リハビリテーション



副院長 余川 茂

以前は急性心筋梗塞にかかると厳格な安静が第一と考えられていましたが、医師の指導に基づいた適切な運動療法が安全であり、かつ早期の社会復帰、再発防止および長期予後の改善に有効であることがわかり、現在、広く取り入れられています。運動療法は急性心筋梗塞のみならず、慢性心不全、心大血管手術後患者、末梢動脈閉塞疾患なども対象になっています。運動療法により、運動能力改善、狭心症や心不全の症状の軽減、不安・うつ状態の改善が得られます。また、脂質代謝異常、糖尿病、肥満、高血圧などの動脈硬化危険因子にも良い影響が期待できます。心臓病の再発を防ぎ質の高い生活の維持を目的として、運動療法のみならず危険因子は正のための栄養指導、禁煙指導や疾病に対する教育などを包括的に行うことを「心臓リハビリテーション」と言います。心臓リハビリテーションに参加することにより心筋梗塞再発などによる死亡の危険性が、3年間で20~25%減少すると報告されています。

本年4月に、専従理学療法士の配置が可能になったことと施設基準の改訂により、当院は心臓リハビリテーションの認定施設となりました。西8階の旧ナースセンターを心臓リハビリテーション室に改装し、心肺運動負荷試験装置1式、自転車エルゴメータ5台を装備しました。運動療法は毎日実施しており、人員は1名の専従理学療法士、1名の専任看護師（救急外来、ICU、循環器病棟からのローテーション）および1名の専任医師（循環器医4名でローテーション）です。急性期は病室でリハビリテーションを行い、病状が安定してからは、検査技師と医師の監視下で心肺運動負荷試験を行い運動処方決定されます。その処方に従い心臓リハビリテーション室で、自転車エルゴメータを用いた監視型の有酸素運動療法を20~40分を行います。筋力増強を目的としたレジスタンストレーニングも織り交ぜています。運動前の身体状態チェック、準備体操や整理体操を含め1時間で終了します。現在、外来患者も増え1日15名前後の心臓リハビリテーションを行っています。また、11月27日には多職種による1回目の心臓病教室を開き、今後、定期的に行う予定です。退院後は外来リハビリテーションになりますが、病院でのリハビリテーションは150日間で終了するため、その後の自宅での運動指導が必要となります。在宅での運動療法継続のために地域医療機関やスポーツ施設との連携が今後、必要になるものと思われます。

## Contents

心臓リハビリテーション .....	1
研修・講演・勉強会のご案内 .....	2
11月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ...	3
救急科よりお知らせ .....	3
ふれあい地域医療センターからのお知らせ .....	3
診療所・病院・施設訪問 .....	4
奥皇鳥市第一病院の神経外科医師である陳先生、医療研修に訪問される ...	5
ふれあいセミナーを行いました！ .....	5
地域医療支援病院委員会を開催いたしました ...	6
平成22年度第2回富山脳卒中地域連携の会の報告 .....	6
第2回 富山老人保健福祉圏域地域リハビリテーション研修会報告 .....	6
第1回 睦美会教養部文化講演 .....	7
富山市民病院のホームページがヘルスケア情報誌コンクール .....	7
医師不在のお知らせ .....	7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ ...	8
編集後記 .....	8

1 . 地域連携・開放型病床症例検討会

12月 日時：12月14日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂  
ミニレクチャー：「口腔ケア」 歯科口腔外科 高橋 勝雄

老人保健施設での口腔ケアにより誤嚥性肺炎が減少したことを契機に、口腔ケアと全身との関連が注目され、病院や施設を中心に口腔ケアの取り組みが行われるようになってきました。また、近年では全身の治療開始に当たり、術後の合併症の予防や退院期間の短縮を目的に口腔ケアや歯科治療を実施する機会も増加してきているようです。今回、文献的検索を中心に口腔ケアについて調査し、口腔ケアの位置づけや変遷、医科と歯科との連携について検討したので報告します。

症例検討

- 1) 「コンタクトレンズの不適切使用により生じた角膜潰瘍の1例」(20歳 男性)  
紹介医：みずの眼科クリニック 水野 敏博先生 眼科 山田 芳博
- 2) 「頻尿を契機にみつかった骨盤腔を占拠する巨大腫瘤(悪性リンパ腫)の一例」(77歳 女性)  
紹介医：森山医院 森山 義光先生 泌尿器科 児玉 浩一

1月 日時：1月11日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂  
ミニレクチャー：「高齢者と慢性腎臓病」 腎高血圧内科 大田 聡

2 . 内科CPC

日時：12月14日（火）17：30～  
場所：医局カンファレンス室

3 . とやまレントゲン読影会

12月・1月の開催はありません

4 . 褥瘡対策学習会

日時：12月3日（金）17：45～  
場所：講堂

テーマ キネステティクスの概念を使った褥瘡予防に対するポジショニング  
講師 キネステティクス  
ベーシックコーストレーナー  
副看護師長 大島 倫子

5 . 糖尿病研究会定例学習会

日時：12月2日（木）17：30～18：30  
場所：集団指導室

テーマ 「フットケア・口腔ケア」  
講師 副看護師長 宮本 育子

6 . 看護研修

《衛星研修SQUE Eナース》

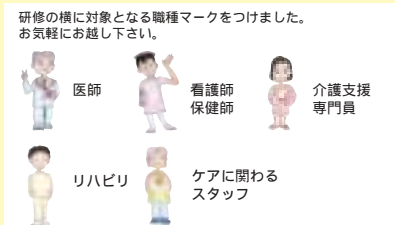
日時：12月1日（水） 18：00～19：20  
場所：講堂

テーマ 「早期離床のためのリハビリテーションの知識と技術」

日時：12月15日（水）18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 「摂食嚥下訓練に必要なアセスメントと技術」



病院ボランティア  
篠崎 佳子



## 救急科よりお知らせ

救急センター 看護師長 大井 真百美

### 1. 平成22年度第2回救急事例検討会

平成22年11月10日（水）当院講堂にて17時30分から第2回救急事例検討会が開催されました。事例発表1例とBLS（一次救命処置）のガイドライン変更で救急科 野田医師によるレクチャーがありました。

参加者は消防局より50名、院内より35名、合計85名の参加がありました。検討された事例への振り返りや日常の救急搬送時等についての質疑応答などもあり、大変有意義な検討会となり、今後の救急連携に活かして生きたいと思いました。



### 2. 出前研修のご案内

救急科では地域医療機関や施設の皆様に対し、一次救命処置と窒息防止等の出前研修をお受けしています。ご連絡いただければ当院救急センターのスタッフを派遣いたしますのでどうぞお気軽にお申し込みください。

なおご連絡、お問い合わせは“ふれあい地域医療センター”へお願い申し上げます。

## ふれあい地域医療センターからのお知らせ

今年も残すところ1ヶ月となりました。日頃より大変お世話になり、ありがとうございます。年末年始のふれあい地域医療センターについては以下の通りです。診察や検査の予約受付に対応いたしますのでよろしくお願いいたします。

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ・ 12月27日（月）         | 通常通り |
| ・ 12月28日（火）         | 通常通り |
| ・ 12月29日（水）～1月3日（月） | 休み   |
| ・ 1月4日（火）           | 通常通り |

なお、救急患者さんに関しては、救急センターへご連絡ください。

## 《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 68 ミワ内科クリニック

今回は「ミワ内科クリニック」を訪問させていただきました。

名 称	ミワ内科クリニック
住 所	富山市新富町1丁目4-3
医 師	三羽 邦久 先生（院長）
標 榜 科	内科・循環器内科
診察日・時間	平 日 8：30～12：00 14：30～18：00 土曜日 8：30～12：00 日曜・祝日・木曜日午後 休診
施 設 区 分	無床診療所

### 訪問記



三羽院長先生



三羽医院スタッフの皆様



三羽医院前景

街路樹が紅葉し、秋の深まりと冬の気配を感じ始めた11月10日、富山市新富町で今年6月に開業された「ミワ内科クリニック」を訪問させていただきました。三羽邦久院長先生には開業時より検査や各科への患者さんの紹介、開放型病床登録医として当院と医療連携いただいております。

白を基調に若草色でデザインされたマークが目印のクリニックは、2階へ上がるエレベーターが完備されており、バリアフリーの玄関から続く待合室や診察室は明るくさわやかなグリーンで統一されるなど、自然なやさしさと癒しを与えてくれます。「患者さんがまるでサロンにいるようにゆっくりとくつろぐことができ、そして何でも話せる雰囲気のあるクリニック」がコンセプトとのことでした。

先生は、循環器内科がご専門ですが、高齢化に即した地域医療の推進と慢性疲労などの現代社会のストレスから生じる様々な身体的問題についても積極的に取り組んでいらっしゃいます。

若年層にも比較的多いとされる原因不明の疲労『慢性疲労症候群』と循環器疾患との関係などについて多くの研究や執筆、講演活動をされておられ、「様々なストレスに曝され、スピーディーな変化に対応を迫られる現代社会では、慢性疲労に悩む人が増加しており、深刻な問題となっています。開業医であるからこそ、一人の人を心理面、身体面の両方から総合的に診て支えていくことができると思っているのです、そういう真のホームドクターを目指しています」と熱く語ってくださいました。

また「生活習慣の改善を行うことを大切に、個々の患者さんに応じたオーダーメイドの診療を行っています。駅から近いサラリーマンの方たちから禁煙についてご相談されることが最近多くなりました」とお話をいただきました。

テニスと将棋が趣味とお優しい表情で話される先生と笑顔の素敵な5名のスタッフの方々へ癒され、市民病院へと帰路につきました。大変お忙しい中、訪問させていただきました。ありがとうございました。

## 秦皇島市第一医院の神経外科医師である陳先生、医療研修に訪問される



10月28日に秦皇島第一医院の神経外科医師である陳興河先生が医療研修のため当院を訪問されました。約3週間余りの間、当院で充実した研修を受けられました。

第一医院は、1500床を有する病院で、新館の外科病棟は、地下2階、地上22階だそうです。彼の専門は、脳卒中の外科的治療で第一医院神経外科の年間手術件数は、約600件で、脳動脈瘤は年間120件（クリッピングが60件、コイリングが60件）だそうです。これは、日本ではトップクラスの手術件数です。

彼の訪問の最大の目的は、虚血性脳卒中の外科的治療について学びたいとのことでした。そこでDVDで頸動脈内膜剥離術、血管吻合術の手術症例を紹介し、その手術手技などについてdiscussionを致しました。通訳もありましたが、時に英語で熱い議論を行いました。また、血管吻合術の練習も行われ、その熱心さと器用さには頭の下がる思いでした。さすが第一医院院長の指名で来たドクターだと感心しました。

動脈瘤クリッピング術や脳腫瘍手術についても研修されましたが、ICG videoangiographyや超音波吸引器などのハード面では、まだ整備されていない面もみられました。

脊椎手術についても研修され、他施設の難易度の高い脊椎手術も見学されました。

休日には、学会にも参加され日本の脳神経外科医との交流をされ、また、観光を楽しまれたりされました。陳先生にとって実りの多い研修であったかと思えます。

今後も第一医院との意義深い医学交流が発展していくことを願っております。

## ふれあいセミナーを行いました！

ふれあいセミナー運営委員会

10月23日（土）午前10時より第19回富山市民病院ふれあいセミナーを「あなたと学ぶがん知識第3回～早期胃がん治療の最前線～」と題し開催いたしました。

講演の内容は、

- |    |     |                     |             |
|----|-----|---------------------|-------------|
| 講演 | 第1部 | がん予防と食生活            | 中嶋 和代 管理栄養士 |
| 講演 | 第2部 | 早期胃がんを胃カメラで取りましょう   | 蓑内 慶次 内科医師  |
| 講演 | 第3部 | 早期胃がんに対する腹腔鏡下手術について | 天谷 公司 外科医師  |



講演のほか、恒例の健康チェック、17文字メッセージ展、そしてターミナルケアと地域看護エキスパートナースの活動を紹介いたしました。今回のセミナーには65名の方が参加されましたが、若い方が多く、学生さんの姿も見られました。またセミナー後のアンケート結果から、がんシリーズを続けてほしい要望が92%と多く、がんに対する関心が高いと感じました。今後もさまざまなテーマで「ふれあいセミナー」を開催していきたいと思っております。

## 地域医療支援病院委員会を開催いたしました

地域医療支援病院委員会は、当院が地域の医療機関からの要請に適切に対応し、地域医療の確保に必要な支援を行うことを目的に運営しております。

去る11月18日に、本年3回目の委員会を開催いたしました。

会議では、事務局より10月までの業務実績、クリティカルパスの稼動状況及び昨年10月に開設した「がん・なんでも相談室」の活動状況について報告いたしました。委員の方から多くのご意見をいただき、地域医療の発展に向けた対策について理解を深めました。今後は「がん・なんでも相談室」を含めた当院の地域医療に関する取組みをより多くの方に知っていただくための活動を強化していきたいと考えております。



## 平成22年度第2回富山脳卒中地域連携の会の報告

平成22年10月25日、名鉄トヤマホテルにて、平成22年度第2回富山脳卒中地域連携の会を当院が当番幹事として開催しました。

脳卒中地域連携パス改訂後、約半年が経過し、脳卒中地域連携パスのIT化、パスの追加、変更項目、回復期病院退院後の通院先、転院前の受診の是非などについての検討がなされました。

特別講演には、滋賀県立成人病センターリハビリテーション科部長、中馬孝容先生をお招きし、「脳卒中治療ガイドライン2009について」と題して、ご講演を賜りました。日常診療で行なっている脳卒中リハビリテーション、脳卒中看護のエビデンスを再確認することができました。

富山市内の急性期、回復期、維持期を担う各病院より、121名の参加があり、盛況で、有意義な会でした。

## 第2回 富山老人保健福祉圏域地域リハビリテーション研修会報告



### <テーマ：認知症の人をみる～BPSDの理解と対応～>

リハビリテーション部 理学療法士 平井 瑞穂

10月29日(金)午後5時半より当院講堂において、今年度「第2回富山老人保健福祉圏域地域リハビリテーション研修会」を開催いたしました。今回は、金城大学社会福祉学部准教授 木谷尚美氏に、「認知症の人をみる～BPSDの理解と対応～」について、講演していただきました。富山老人保健福祉圏域のリハビリテーション実施機関54施設より看護師、介護支援専門員、介護職、理学療法士、作業療法士、保健師など、保健・医療・福祉分野から138名と多数の参加がありました。

講演では、BPSDの意味、分類、対応などについて説明していただきました。BPSDのBはBehavioral(行動学的)、PはPsychological(心理学的)、SはSymptoms(兆候)、DはDementia(認知症)とのことで、認知症の行動・心理症状という意味とのことでした。また、BPSDの症状ばかりに注目していませんか？認知症の人の心理状態をみていますか？理解しようとしていますか？と投げかけられ、認知症の人たちの行動にも意味があることを認識しました。

参加後のアンケートでは、「改めて認知症やBPSDを振り返る時間になり、実践できるようにがんばりたい」「BPSDの原因に薬と体調があることを知り、ご家族へのアドバイスに役立てたい」「『認知症』という視点だけでなく、人として尊厳を守るケアが大切だということがわかった」など多くの感想をいただきました。



## 第1回 睦美会教養部文化講演

### 「笑いの力・サービスの力」と題して

睦美会教養部

11月15日(月)17時45分より睦美会教養部と接遇委員会の共催で、NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長の大棟耕介先生を講師にお招きし「笑いの力・サービスの力」をテーマに講演会を開催いたしました。型破りな登場、マイクなしでの講演や風船で作品を作りながらあるいはボールでのジャグリングなどいろいろなパフォーマンスを取り混ぜながらの講演で、あっという間の1時間30分でした。先生は笑いで、患者や災害で被災をこうむった人々の意欲を引き出すボランティアをされています。私たちも講演に参加してその場の空気が変わったことを実感いたしました。サービスも同様に小さなサービスが大きなサービスにつながっていくとお話でした。そして講演終了後、もう退場されたかと思っていましたら、出口で参加していた一人一人に「ハイ！」と声をかけながらハイタッチでお別れのご挨拶をしていただきました。

最後まで、笑いの絶えない心温まる講演でもう一度先生にお会いしたくなりました。



## 富山市民病院のホームページがヘルスケア情報誌コンクール

### 「BHI賞2010ホームページ部門最高賞」を受賞!

広報委員会 齋藤 勝彦

昨年末リニューアルしました本院のホームページがヘルスケア情報誌コンクール「BHI賞2010」のホームページ部門最高賞を受賞しました。各部門いろいろ知恵を絞って作り込んだ結果であり。皆様と共に職員みんなで喜びを分かちあいたいと思います。審査にあたっては実際にホームページを閲覧しながら評価項目に沿って採点されたそうですが、トップページのシンプルなデザインと清楚なイメージ、わかりやすさや操作性の良さが好評でした。とくに欲しい情報がすぐに手に入るようにユーザー目線を大切にしていることが高評価でした。ピックアップコンテンツに配置された連携医療機関のコーナーではグーグルマップを用いてビジュアルにご紹介している点もきっと配点の高かった項目の一つではないかと思えます。尚、広報誌「きよら」も昨年に引き続き入賞いたしました。



## 医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

12月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	6日	石田	内科	17日	打越
	7日	清川		15日	清水
	21日	石浦	整形外科・関節再建外科	10日	澤口
	21日	大田		20日	島
	13日・27日	寺崎靖	小児外科	2日・3日	岡田

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



## 認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



### がん化学療法看護 エキスパートナース編

当院では、4名のがん化学療法看護エキスパートナースが活動しています。

現在、日本人の2人に1人ががんに罹患すると言われており、その治療法も年々進歩しています。化学療法においても新しい薬(抗がん剤や分子標的治療薬)の開発や治療法の研究、支持療法の進歩により、安全・安楽に治療が継続できるようになってきています。また、患者さんに確実に治療を提供するためには、医療者が専門的な知識と技術をもち治療・ケアを実施することが大切です。

私たちががん化学療法看護エキスパートナースは、患者さんが确实・安全・安楽に治療が受けられるように自己研鑽に努めるとともにスタッフへの指導、助言を行っています。具体的な内容としては、スタッフ全員が一貫したケアを行えるように「がん化学療法実施マニュアル」の作成や知識を深めるための勉強会を年4回開催しています。

近年、入院期間の短縮や外来治療への移行により、患者さんが家庭で過ごす時間が増えてきています。また、がん地域連携パスの稼働により、より一層、連携が大切となってきました。治療の場が病院から外来へシフトしてきていることで、患者さんのQOLの向上が望める一方、家庭での副作用出現時の対処法や緊急時の対応についての不安も考えられます。今後は、そういった患者さんやご家族の不安などについて支援していけるような活動も考えています。



## 編集後記

脳は気持ちや生活習慣でその働きが悪くなるということを最近知りました。その脳に悪い7つの習慣を自分に当てはめると、嫌だ疲れたと愚痴を言う 言われたことをコツコツやる 常に効率を考えている 我慢して勉強する、となんと4つも当てはまりました。はポジティブな発想かと思っていたのですが、ちょっと考えを改めなければなりません。どうやら趣味や興味をもって生活を楽しむ余裕が必要なようです。(そういえば最近、山登りスポーツにも遠ざかっていました。ちなみに残りの3つは 物事を避ける 趣味がない 滅多に人をほめない、だそうです。)

そして、今年も残すところ1ヶ月となりました。今更なのですが、残り1ヶ月余裕を持って脳を活性化させ、新しい年を迎えたいと望んでいます。



ふれあい地域医療センター 滝本 厚子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。  
送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>  
がん・なんでも相談室：メールアドレス [shien@tch.toyama.toyama.jp](mailto:shien@tch.toyama.toyama.jp)